

# ○ 学力・学習状況調査 報告

藤が丘小学校

(教科別学習状況調査結果) (平均正答率%)

	国語	算数
全国	67.2	62.5
神奈川県	66	63
藤が丘小学校	68	68

## 国語

全国平均・神奈川県平均とほぼ同じ正答率となりました。学習指導要領の観点別に見ると、「知識・技能」は、平均を4ポイント上回りました。逆に「思考・判断・表現」は、1ポイント下回りました。特に、「思考・判断・表現」の内容「書くこと」については、全国平均から7ポイント、神奈川県平均から6ポイント下回った結果となり、平均から差の開く原因となりました。このことから、自分の考えが伝わるように文章を記述することに課題があることが明らかになりました。

## 算数

すべての領域で、全国平均・神奈川県平均を5～8ポイント上回りました。しかし、学習指導要領の領域「データの活用」では、平均より2ポイント上回ったのみと、他の領域と比べて低い結果となりました。問題の趣旨から、表やグラフから読み取ったり、記述したりすることを苦手としていることがわかります。国語と同様に、算数でも同じ傾向の課題が見られる結果となりました。

## 意識調査

「生活習慣・学習習慣」の「学校に行くのは楽しい」という項目に対して、肯定的に捉えている児童の数が多く、学校生活を楽しんでいることがわかりました。「ICT機器の利用」に関する項目では、使用率が全国に比べ大幅に上回っており、ICT機器を使ってよりよい学習につなげている様子が読み取れました。

一方で、「国語への興味・関心」や「自己有用感」の項目では、肯定的に捉えている児童の割合が全国を下回りました。「国語への興味・関心」については、国語の学習の必要性を理解していなかったり、自分と違う意見に否定的だったり、国語という科目に対して苦手意識を抱えていることがうかがえました。「自己有用感」については、互いに認め合ったり、学級やグループで考えを話し合ったりと、周りとの関わり方を不得意とすることがわかりました。ここでも国語、算数と共通した課題が見られたことから、克服すべき課題が明確になりました。今回の結果を踏まえ、今後の指導に生かして改善していきたいと思えます。